



# 自衛隊栃木地方協力本部

## YOKOSUKA FLEET FESTA 2025

### 護衛艦「あさぎり」体験航海に参加

### ～護衛艦の魅力に魅せられて～



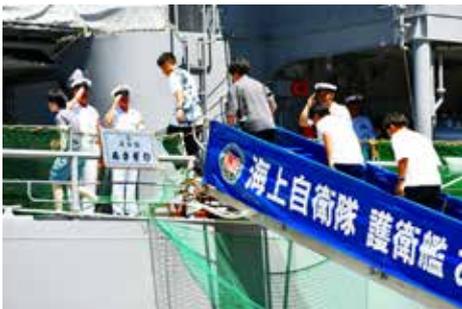
広報官と記念撮影をする参加者



体験航海中の様子



護衛艦「あさぎり」の前で記念撮影



護衛艦「あさぎり」に乗艦

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は7月19日（土）及び20日（日）、海上自衛隊横須賀地方総監部が実施するYOKOSUKA FLEET FESTA 2025に参加し、募集対象者等約30名に対して護衛艦「あさぎり」体験航海を支援した。この体験航海は、海上自衛隊横須賀基地から横須賀湾を約2時間回遊するツアーで、海の無い栃木県に住んでいる参加者たちはとても楽しみにしていた。

横須賀基地に到着すると、岸壁に停泊している様々な艦艇が目に入り、その大きさに驚いた様子であった。受付を済ませ、岸壁に向かうと艦内に入る棧橋には海上自衛隊護衛艦「あさぎり」の看板が掲げられており、緊張した様子で艦内へ足を運んで行った。体験航海が始まると、航海準備をする海上自衛官の勤務姿や聞きなれない号令など、興味深く魅入りながら、岸壁から手を振る見学者に答え、大きく手を振る参加者が印象的であった。

約2時間の航海を終え、護衛艦「あさぎり」から退艦してきた学生は「今日の見学とても楽しみにしていました。普段見ることができない護衛艦の中に入り、勤務している海上自衛官を見れてとても良かったです。護衛艦の号令とか、とてもかっこよくて憧れます。今日の体験を一生忘れないと思います」と、心に残る特別な体験に思いをはせ、名残惜しそうに艦艇を眺め、横須賀地区をあとにした。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に自衛隊の魅力を発信するとともに、艦艇広報は海の無い栃木県で海上自衛隊を体験してもらええる特別なチャンスと捉え、積極的に活用していく」としている。



護衛艦「あさぎり」の前で記念撮影



艦内では、ファッションショーなどの催し物で盛り上がった。

